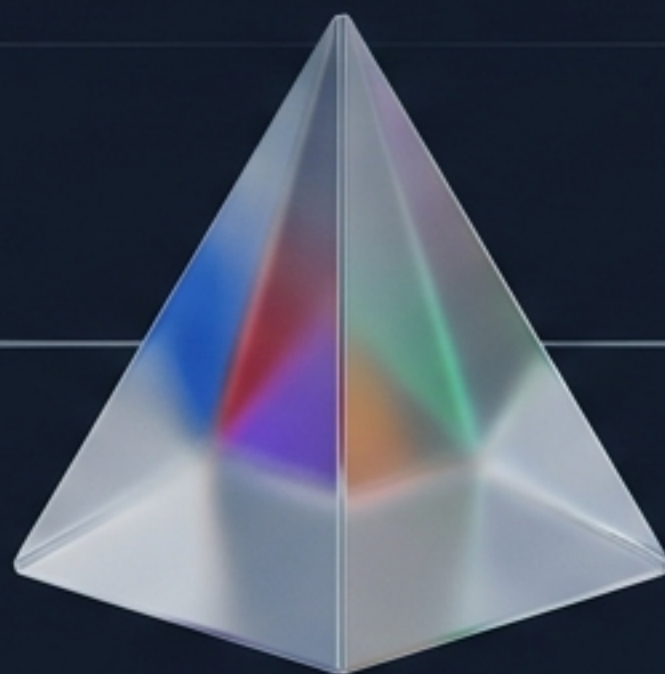


国内AI特許ツール 比較検討報告書

アーキテクチャ選定のための戦略ガイド



Target: サマリア / MyTokkyo.Ai / Genzo AI / AI Samurai /
Patentfield AIR / Patsnap Eureka

Date: 2026年8月9日 基準

Version: GPT-5.6 Sol - 意思決定用

結論：単一の絶対優位製品はない



重複契約費より、誤検出・見逃し・レビュー工数を含む総コストで判断する。

総合評価マトリクス：6大ツールの強みと偏り

Patsnap Eureka



サマリア



MyTokkyo.Ai



Genzo AI



AI Samurai



Patentfield AIR



評価尺度: 5=広範提供, 4=一部限定, 3=実用的だが制約あり, 2=限定的/予定, 1=未確認

ユースケース別 選定ガイド

最優先課題は何か？

R&DゲートへのグローバルFTO組み込み

Patsnap Eureka

理由: 2億超の世界特許・NPLと証拠マッピング

日本の調査・読解・OA実務の深い効率化

サマリア

理由: FI/Fターム、変更履歴付Word等、実務粒度が高い

発明発掘・発明者ヒアリングのボトルネック解消

MyTokkyo.Ai

理由: ChatDraftによる反復質問と自己評価

日本企業向けの全社標準化・国内データ保管

Genzo AI

理由: 島津製作所運用の外販、無制限ユーザー志向

個社エージェントへの外部LLM(MCP)組み込み

AI Samurai

理由: MCPサーバーによる外部AIへのDB提供

大量国内外公報の一括査読とマップ分析

Patentfield AIR

理由: 最大1万件への一括査読条件適用

Patsnap Eureka | グローバル・R&D主導型

特徴・強み

- 新規性・FTOからR&D調査までを証拠付きワークフロー化。
- 特徴／クレーム単位での証拠 (feature-level evidence) マッピング。
- ISO 27001:2022対応、強固な監査ログとRBAC。

AI自律性ループ



210M Patents / 1.6B Legal Data

PoCでの確認点



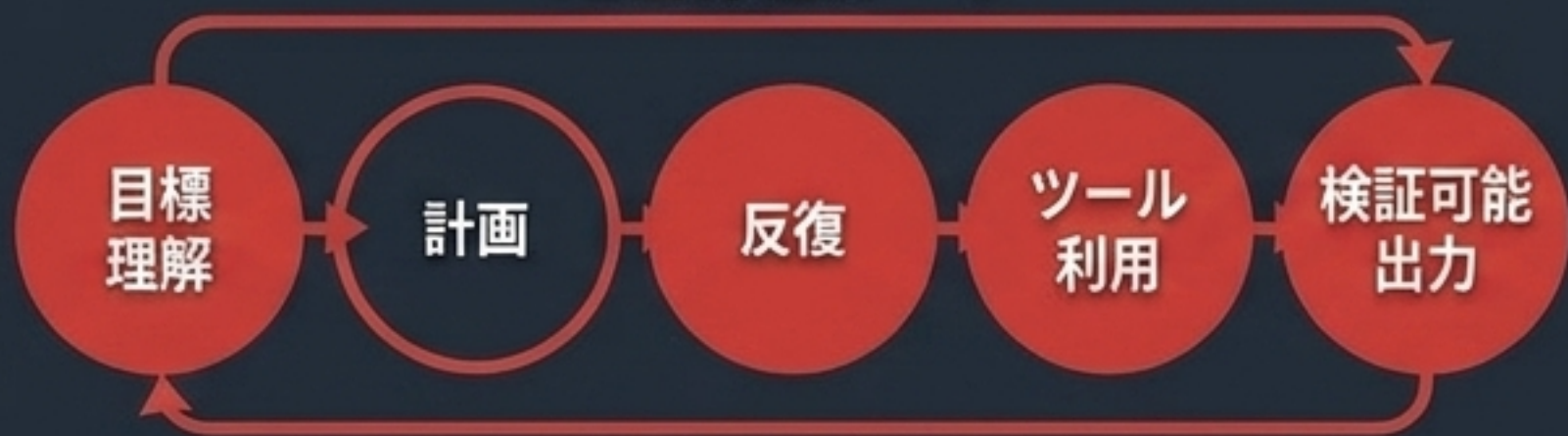
- JPOクレーム解釈、FI/Fターム、包袋等の日本実務対応度を検証。
- 公称の「コスト90%減」を自社正解セットで確認。
- PatentBenchの再現率 (X Recall 37%) の留意。

サマリア | 国内実務・知財Ops特化型

特徴・強み

- FI/Fターム、無効資料調査、国内外OA対応の深い実務粒度。
- 変更履歴付きWord出力、ラベル・関連段落・図面のエビデンス保持。
- バッチ指示、SDI対応など、定型知財工程に強いAIアシスタント。

AI自律性ループ



150M Patents / NPL Data

PoCでの確認点



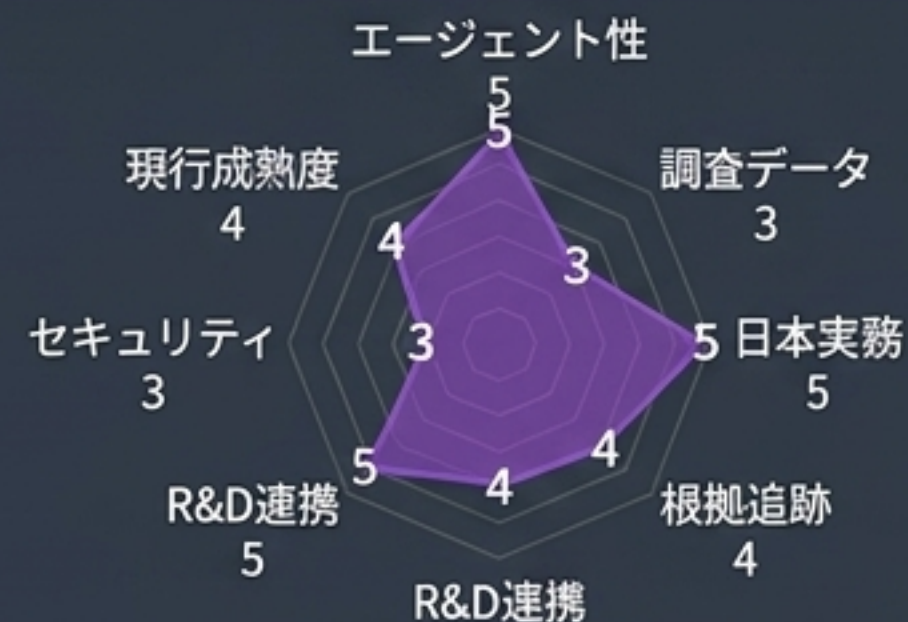
- 古いOCR、図表処理、CN/KRの翻訳遅延を案件別に要確認。
- 複数生成AI APIへのプロンプト送信時のデータ保持・リージョン規約確認。

MyTokkyo.Ai | 対話型エージェント・発明者支援

特徴・強み

- ChatDraft機能：発明者との対話で不足情報を質問し、自己評価を反復。
- R&D入口から弁理士相談資料までを一つの導線で繋ぐ。
- Deep Researchによる検索・分析・提案の自律的エージェント方式。

AI自律性ループ



210M Patents / 1.6B Legal Data

PoCでの確認点



- 外部DBの収録国、NPL、法的状態の具体的範囲が非公表のためデモ確認必須。
- 「連携外部DB」の更新頻度と原文リンクの追跡性。

Genzo AI | 全社標準化・国内統制

特徴・強み

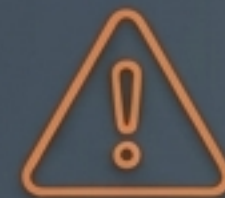
- 島津製作所の知財部運用ロジック（HITL）をパッケージ化。
- 無制限ユーザーと国内AWS保存による、大企業の全社展開・標準化に最適。
- OA・翻訳・発明届を共通プロンプトで統制。

AI自律性ループ



ID数無制限 (Unlimited IDs)

PoCでの確認点



- 2026年8月時点で先行文献・FTOの「本番提供完了」が未確認（要スケジュール確認）。
- 年間100万～1500万円の価格幅が大きいいため、利用量・外部AI料金の分解が必要。

AI Samurai | 外部AI連携・個社エージェント化

特徴・強み

- ONE：日米中特許の構造化検索、ABCD評価、クレームチャート出力。
- IP Samurai MCPサーバー：自社のClaudeやCopilotから特許DBを直接呼び出し可能。
- 「三人寄れば文殊の知恵」等のマルチAI討論機能を予定。

AI自律性ループ



PoCでの確認点



- 外部LLM (Claude等) 側にデータが残らないゼロデータリテンション (ZDR) 設定の確認。
- 現行価格が非公開。外部AI利用料・MCP利用量の分離見積が必要。

Patentfield AIR | 一括査読・母集団分析

特徴・強み

- 最大1万件の検索母集団に対し、ユーザー定義の査読条件を一括適用。
- AI査読結果と公報原文を併記し、ExcelやIPランドスケープ・マップ分析ヘシームレスに連携。
- Web検索、URLコンテキスト、コード実行など組み込みツールとの統合。

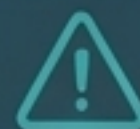


Max **10,000** cases bulk processing

AI自律性ループ



PoCでの確認点



- 自律型エージェントではなく固定3段階のワークフロー（一次査読用途）。
- 海外文献（EP/CN等）のテキスト欠損、AIサマリーオプションの品質検証。

コストと導入形態の実態：隠れた変数



Genzo AI (年100万～1500万) や **AI Samurai** (価格要問合せ) のように、個別要件で価格が大きく変動するベンダーには「モジュール分解見積」が必須。

推奨アーキテクチャ：ベスト・オブ・ブリード戦略

企業内知財ワークフロー (Corporate IP Workflow)



「1社への全面置換ではなく、必要範囲での組み合わせが合理的な場合がある。」

Total cost equals tool cost PLUS the time saved on review and human error mitigation.

4週間のPoCロードマップ：デモではなく「正解セット」で測る

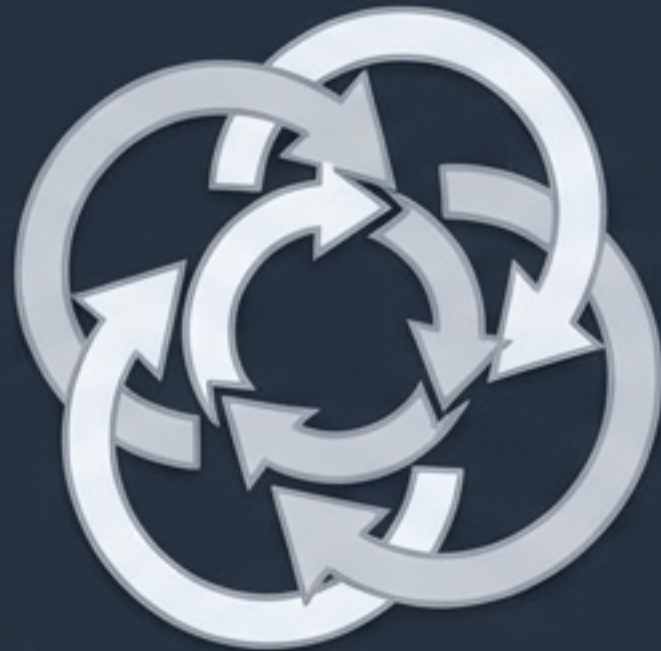
Week 1: 環境・統制	Week 2: 新規性・大量査読	Week 3: FTO・属否	Week 4: 実務・作成
NDA, SLA, ZDR (Zero Data Retention) check, set standard input/output formats.	Test 500-1000 cases. Measure Recall@50, Precision@20, false citations.	Blind test 10 known cases. Measure high-risk claim missing rates and legal status accuracy.	Measure real drafting time reduction and Word integration friction.

「過去案件の正解セットを用い、同一入力・同一制約で盲検化比較すること」

ガバナンスと最終統制点

Traceability & Accountability

一次情報の抽出・
整理・仮説形成



最終的な法律判断、
出願・応答方針、
製品上市判断

FTO、侵害、特許性の最終判断は決してAIに委ねてはならない。
常に「検証可能な成果物 (Verifiable Output)」として公報・段落・クレームへ
遡れるツールを選定し、弁理士・弁護士のリビューを統制点として設計すること。